

平成 26 年 12 月から論文剽窃検知システム iThenticate (アイゼンティケート) の利用を開始します。

1 iThenticate の概要

「iThenticate」は、自身の研究成果や著作物の内容を、既存の公開情報（学術フルテキストデータベース）と照合し、類似度を表示する剽窃防止のためのオンラインツールです。

利用者は、類似と判定された内容をオンライン上で確認することにより、独自性や引用に関する表記もれ、意図しない自己剽窃などをチェックすることができます。

2 利用の対象について

学術情報リポジトリを用いて公開される博士論文については、指導教員によるシステムチェックが義務化されました。

なお、教員の論文については、当面の間、自己責任のもと任意での利用となります。

3 利用登録対象者

全教員（助教以上）

ただし、嘱託研究員（職員）については必要に応じ認めます。

4 利用方法

当面の間、利用に制限は設けませんが、システムチェックが多数（概ね 10 回程度）必要な場合は、事務局教務課情報研究係までご連絡下さい。

注）同一論文でも、システムチェックの度に回数がカウントされます。

5 問合せ先

○利用登録・運用に関すること	事務局教務課情報研究係
○博士論文に関すること	〃 教務学生係